

規則正しい生活で身に付く「力」!

中学時代、それは、人生で初めて自分の責任で自分の進路を選択する時期です。子どもたちは、自分なりに進路を考え、勉強を頑張らなければならないという思いとともに、心のどこかに絶えず不安を抱えています。

保護者にとっても、子どもに対する期待と不安が交錯する時期ではありますが、まずは、子どもの気持ちを受け止める姿勢を大切にさせていただきたいと思います。子どもの考えをしっかりと聞く機会をつくり、子どもの努力や過程を認めてあげることで、厳しくも温かい励ましを積み重ねることこそが、子どもに意欲を持たせ、進路を切り開かせることにつながります。

そして、家庭学習は、自分の進路を自分の手でつかむためになくしてはならないものです。自分の将来に向かって毎日の地道な積み重ねとなる家庭学習の習慣を身につけることができる環境づくりとともに、子どもたちへの指導をよろしくお願いいたします。

進路確保

確かな学力

授業・家庭学習

正しい心・優しい心

基本的な生活習慣

家庭学習時間の目安(例)

校種	年齢	平日	休日	主な学習内容
幼稚園	3~5才	10分	10分	読み聞かせやふれあい遊びで学ぶ喜びを感じる。
小学校	1~2年	30分	60分	宿題、音読、漢字・計算練習、日記
	3~4年	60分	90分	宿題、復習、音読、漢字・計算練習、日記
	5~6年	90分	2時間以上	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記、興味関心のある自主学習
中学校	1~2年	2時間以上	3時間以上	宿題、予習復習、自主学習の定着、定期テスト対策
	3年	3時間以上	4時間以上	宿題、予習復習、進路確保に向けた自主学習、定期テスト対策

学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起きをして、朝ごはんを食べる。
- 朝の排便を大切に!
- テレビ、ゲームは時間を決める。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家族の一員として、手伝いをする



家庭学習のポイント

- (1) 決まった時間・場所で毎日する。
- (2) 自分で計画を立ててする。
- (3) 集中する。(「ながら勉強」をしない。)
- (4) 正しい姿勢で机に向かう。
- (5) わからないときは教科書で調べる。

自分を大切に、社会や学校のルールを大切に、周囲の人を大切にする心が学力向上につながります。また、家庭で勉強に取り組む環境づくりだけでなく、正しく生きること、優しく生きingことを教指導していくことも、確かな学力の定着につながります。お子さんが前向きで、夢に向かって充実した生活が送れるよう、温かく見守ってください。

校長先生から

現在日比中学校ではどの学年の授業も規律のある中で、話し合い活動が随所で取り入れられ、活発な生徒の学びの風景が見られます。国語はどの学年も基礎基本は比較的身につけていると言えます。しかし、1年生は自分の考えを書くこと、3年生は問題の練習量に課題があります。2年生では「書く力」にこれまでの学習の成果が現れています。数学では1・2年生は基礎基本の問題はしっかりと答えられている人が多かったです。いずれの学年も公式を理解し、活用して問題を解くことに課題があります。今後授業の中での「教え合い」の活動を通して理解を深めていきましょう。

一人ひとりにそれぞれの課題があります。それをわかった上で、目標をもって学習をしていくことが大切です。家庭学習時間を見ると、2年生では平日学習時間が2時間以上の方は15.5%増えています。しかし、全くやらない人が7%増えています。3年生では小学時代と比べて、土日の学習時間は若干増えていますが、平日は減っています。自分で計画を立てて学習をする。家で宿題をする。予習・復習をする。どの項目も小学校時代を下回っています。真摯に学習と向き合い、自分の生活を今一度見直し、時間を上手く使うセルフコントロール力を培って欲しいと思います。